

新型コロナワクチン接種時に注意する薬剤

薬剤部

たかはし
高橋

しんたろう
慎太郎

新型コロナワクチンを接種する際には、接種可能かどうか医師の問診にて確認します。治療中の疾患やアレルギー体質などたくさんの項目を確認しますが、服用中の薬にも注意する点があります。

これから説明する薬剤を服用されている方は、ワクチン接種時に注意が必要です。ワクチン接種をスムーズに進めるためにも、今一度お薬手帳を確認してみましょう。

①抗凝固薬：血をサラサラにする薬

【薬品名（商品名）ワーファリン（ワルファリンK）、プラザキサ、イグザレルト、エリキュース、リクシアナ】

ワクチン接種後の出血に注意が必要です。接種後は、2分以上しっかり押さえることとされています。揉んではいけません。なお接種に際して、薬の服用を中止する必要はありません。

血をサラサラにする薬といっても、上記以外の薬（抗血小板薬など）は通常通り接種することができます。

②β遮断薬：心臓の過剰な動きを抑えて血圧を下げたり、心拍数を下げたりする薬

【薬品名：たくさんの薬があるため、薬品名は割愛します】

ワクチン接種後、アナフィラキシー※を起こした際に使用するアドレナリンという薬が、効きにくい場合があります。β遮断薬服用中であることをあらかじめ把握することで、アナフィラキシー対応をスムーズに行うことができます。

※アナフィラキシーの症状：蕁麻疹、肌の発赤やかゆみ、目のかゆみ、鼻炎症状、息苦しさ、強い咳、腹痛、嘔吐、下痢、血圧低下、意識障害など

新型コロナワクチン接種は、これまでのワクチンと異なり多くの方が一度に接種に訪れると思われます。ワクチン接種を行う時は、あらかじめ主治医に確認の上、接種の際にもお薬手帳は忘れずに持参するようお願い致します。

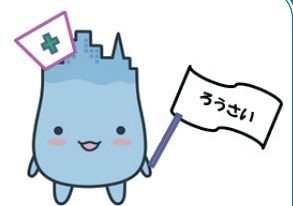


富山ろうさい病院では、毎月、魚津市ケーブルテレビ「NICE-TV」による行政番組「まちかど魚津」に、各診療科の医師が出演し、最新の医療情報を提供しています。

放送日程：5月1日～5月15日

放送時間：①午前7時 ②午後1時 ③午後5時 ④午後10時

「乳がんの検査と最新の治療について」 乳腺外科 経田部長



NICE-TV まちかど魚津

富山労災病院からのお知らせ



富山ろうさい病院ホームページからもご覧いただけますのでチェックしてください！